

平成28年度 ^{ふるさと}手づくり郷土賞(一般部門)

奇跡の湿原を次世代へ～キウシト湿原の保全と活用～（北海道・登別市）

住宅地の中にありながら奇跡的に開発されずに残り、貴重な動植物が多数生息するキウシト湿原。湿原を守り、子どもたちに残したいという思いから活動を始め、湿原の保全・再生に当たっては、市、市民、専門家との協働で取り組んだ結果、外来種の繁殖を抑え、在来種が復活するなど生態系が回復しました。ミズバショウ鑑賞会などの各種イベント、小学校の総合学習、「笹舟づくり」などの工作体験など市民の憩いの場、次世代を担う子どもたちの学習の場として定着しています。市外からの来園者も増加しており、新たな観光スポットとして地域に波及効果をもたらせています。



登別市の住宅街にある面積約4.8haの湿原です。「キウシト」とは、アイヌ語で「カヤ、群生する、走り根」という意味で、約3千年前に誕生したとされています。

●活動主体

特定非営利活動法人 キウシト湿原・登別

北海道登別市若山町2丁目21番地
キウシト湿原ビジターセンター
(開園期間:4月中旬～11月中旬)

TEL: 0143-84-8470

※閉園期間(11月中旬～4月中旬)連絡先
0143-85-4115(登別市役所土木・公園G)



活動の概要

湿原の保全



ササ刈りの様子。手作業で刈り取ります。



市、有識者を交えての意見交換会の様子。
湿原の適正保全を計画的に進めます。

湿原の再生



在来植物の育成の様子。希少種の栽培や移植を地道に行っています。



憩い・集い



ミズバショウ観賞会。キウシト湿原・登別の会員がガイドを務め、多くの市民が参加しました。



ホタル観賞会。
子どもたちに大人気のイベントです。



湿原内にある材料を利用し、さまざまな工作体験を提供しています。

学習



小学校の総合学習の様子。キウシト湿原・登別の会員が先生となり、湿原に生息する水生生物及び植物とのふれあいや、観察などを行っています。